ユネスコ白山エコパーク郡上エリア（移行地域）登録について

水上精榮
ユネスコ白山郡上エコパーク研究会事務局長
認定 NPO 自然環境復元協会理事、たかす自然文化研究会事務局長

１．はじめに

写真１．霊峰白山を望む
（郡上市白鳥町鎌ヶ峰より）

郡上市は日本の中央地域に位置し、白山山系の南にあたる山岳丘陵地帯と長良川水系、九頭竜川水系、庄川水系、飛騨川水系のつくる谷低平野・段丘平地等を含む中山間地域である。市の最高峰は最北に位置する銚子ヶ峰（1,810m：白鳥町石徹白）である。長良川の源流となる山は大日ヶ岳（1,709m：白鳥町と高鷲町）であり、市域のほとんどは長良川の流域であるが北側は九頭竜川と庄川の支流、東側は飛騨川の支流流域に属する。平成１６年（2004）３月に郡上郡７町村（八幡町・大和町・白鳥町・高鷲村・美並村・明宝村・和良村）の合併により誕生し、面積は 1,030km^{2}である。人口は 42,780 人（2013 年 12 月）で、市役所は八幡町にある。

郡上市は太平洋からも日本海からも遠く、山間部に位置するため歴史的にも都市域との交流・影響は比較的少なく今でも山岳（信仰）の文化が残り息づいている。半年以上白い霊峰（写真-１）の白山文化の長い歴史を持ち白山山系を源流とする長良川（日本三大清流の一つ）上流域は特有で豊かな歴史・文化と豊かな景観・生態系を残している地域である。そのような豊かな自然と歴史と文化を宝としてこれからは向かい合い、進展させ、市の内外へ発信し、今後２１世紀の郡上市が持続可能な発展を目指していくことを期待するものである。

２．ユネスコエコパーク

― 図－１．国内のユネスコエコパーク
（環境省資料）

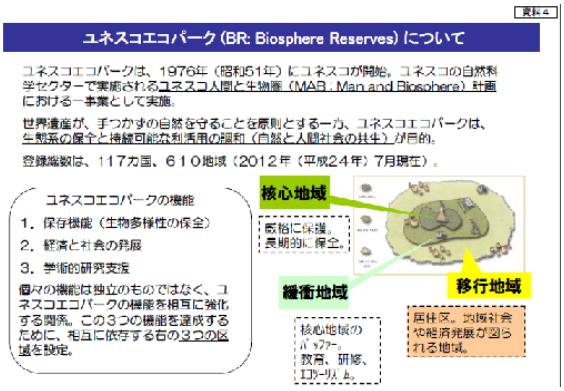
現在、日本のユネスコエコパークは５か所ある（図-１）。１９８０年に登録されたのは、白山、志賀高原、屋久島、大台ケ原･大峰山の５か所で、２０１２年に登録されたのが、宮崎県の綾町を中心とする綾ユネスコエコパークである。現在、複数の地域で登録を目指しており、南アルプス（山梨県･静岡県･長野県）、只見（福島県）、志賀高原（長野県・群馬県）については、今年ユネスコへの登録申請が行われる。

白山ユネスコエコパークは日本の中部に位置し、３千メートル級の白山を中心に持っている。白山は独立峰で川は太平洋と日本海へ流れる。郡上市は唯一太平洋側の主に長良川エリアである。郡上市高鷲町と白鳥町の一部はすでに白山エコパーク緩衝地域の一部を含んでいる。

日本ユネスコ国内委員会（主査：鈴木邦雄・横浜国立大学学長、事務局：文部科学省国際統括官付）はエコパークの新規登録や既存地域の活性化に取り組んでおられる。各地域への助言等は、国内委員会からの委託により日本 MAB（UNESCO's Man and the Biosphere）計画委員会が協力し

ており、その事務局は横浜国立大学にある。

現在のユネスコエコパークの機能は、１．生物多様性の保全、２．歴史・文化の多様性の保全、３．持続可能な開発・発展、４．持続発展教育（ESD（Education for Sustainable Development））５．行政・民間・大学（学校）・市民等による協働保全活動と考えられる（図-２）。他の自然保護制度と異なるのは、自然環境の保全と文化の保全及び地域振興を同時に達成することを目標に掲げている。そのために、次ぎのように土地利用区分を設定することが特徴である。



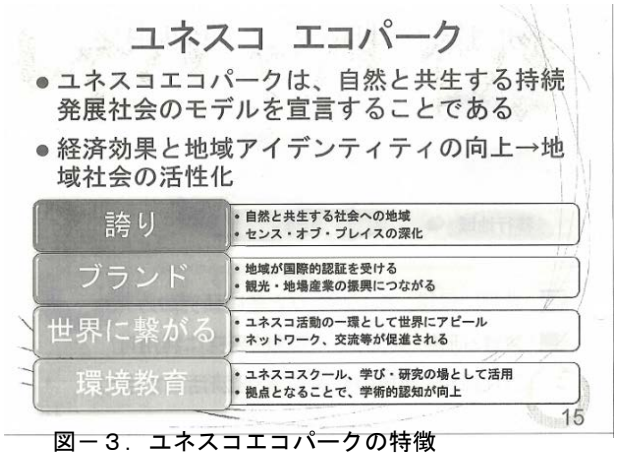
図－２．ユネスコエコパークの機能
（環境省資料）

土地利用区分は１．核心地域（コアエリア、厳格に保護、長期的に保全）、２．緩衝地域（核心地域のバッファーゾーン、教育・研修・エコツーリズム等に利用）、３．移行地域（トランジションゾーン、地域社会や経済発展が図られる地域、居住区）となる。

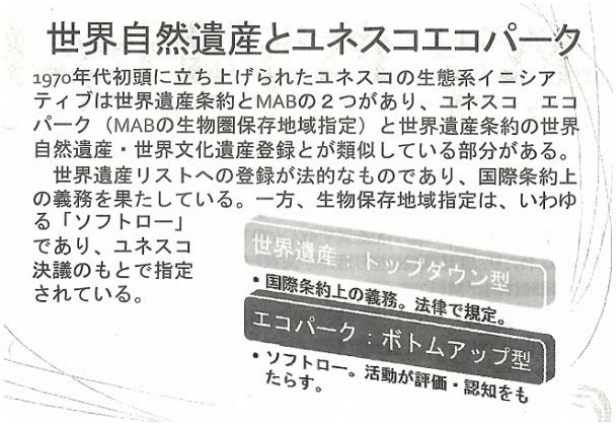
現在、白山ユネスコエコパークには、核心地域と緩衝地域のみが存在し、移行地域は設定されていない。ユネスコエコパークの理念は、移行地域において住民がエコロジカルな発想で経済・文化・教育活動などの取り組みを進め、地域社会が発展することによって、そのベースとなる自然環境を主体的に守る意識を育てることにある。

ユネスコ白山郡上エコパーク研究会は平成２５年（2013）１月３１日に日置郡上市長へ「郡上市全体を移行地域として含め生態系の保全と文化の保全及び地域活性化を目的に世界発信しながら白山エコパークとして地域を守っていくことを目的に白山エコパーク登録をしてほしい」と要望を行った。これは地球環境保全というグローバルな活動へもつながるものである。

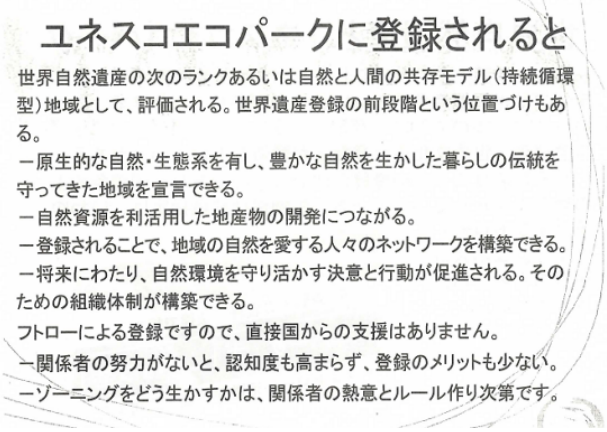
白山エコパークは太平洋側と日本海側を跨ぐ４県（岐阜県・福井県・石川県・富山県）７市村（郡上市・大野市・勝山市・白山市・南砺市・白川村・高山市）を含み国内で最も広いエコパークとなる可能性がある。図-３～図-４に詳しく示す。



図－３．ユネスコエコパークの特徴
（横浜国立大学鈴木氏資料）



図－４．世界遺産とユネスコエコパークの関係
（横浜国立大学鈴木氏資料）



図－５．ユネスコエコパーク登録について
（横浜国立大学鈴木氏資料）

３．宮崎県綾町エコパーク

平成２５年（2013）年７月に宮崎県綾町エコパークを視察した。綾町役場でエコパークを担当される職員の方にお話をうかがい、「NPO てるはの会」でご活躍される方に現地を案内していただいた。

お話の中で綾町エコパークにおいて特筆すべきことは自然をベースにした経済的な自立がほぼ成り立っていること、近年は人口増加傾向であること、外国からの見学者があることなどである。「てるはの大吊橋」は参加者が多く営業は黒字であるとのことであった（写真-２～写真-３）。また役場の玄関には自然生態系の最上位の位置にあるクマタカ（写真-４）がシンボルとしておいてあり、役場にはエコパーク担当の専門官が業務されている事であった。

写真－２．照葉大吊橋（長さ 250m．高さ 142m）

写真－３．照葉大吊橋の上

４．白山エコパーク登録のスケジュールについて

白山エコパーク登録の経緯と目的については以下のようである。

（１）登録継続に係る協議の内容について

①移行地域の設定及びゾーニングの変更（追加）についての検討

②変更申請後の管理及び運営についての検討

（２）関係市村について

南砺市・白山市・勝山市・大野市・郡上市・高山市・白川村

（３）スケジュール（案）について

平成２６年１月　　白山ユネスコエコパーク推進協議会設立

平成２７年３月末　日本ユネスコ国内委員会に継続申請書提出

平成２８年６月頃　ユネスコ国際調整理事会において審議・登録決定

写真－４．
綾役場玄関のクマタ
ー

５．ユネスコ白山エコパーク郡上地域におけるコンセプトと理念について

ユネスコ白山エコパーク郡上地域におけるコンセプトと理念についての例として以下のようにあげてみたのでご参考いただけましたら幸いである。

（１）コンセプトの一例

- 長良川上流域*郡上の自然と文化を世界へ発信！
  （＊九頭竜川上流域、庄川上流域、飛騨川支流域を含む）
- 自然共生思想である白山信仰（神仏習合）と地域生態系・文化の多様性及び地域活性化を「郡上モデル」として世界へ発信！
- 郡上の夢と情熱と好奇心を世界へ発信！

（２）理念の一例

郡上には縄文時代の数千年以前から人が住みつき、自然と共生した暮らしと文化を守り残してきている。古代それらの文化（神道的地域信仰・アニミュズム）と外来の仏教文化が融合した白山信

仰（泰澄大師が開祖といわれる）が広まっている。白山信仰は環白山地域（長良川・九頭竜川・手取川・庄川・飛騨川流域）全域に根づいてきた神仏習合文化であり、自然と共生してきた思想である。この思想が多様な文化を育み地域の山と川と里を守ってきた。そのような自然共生思想を根底に持つことにより長良川の上流域・源流域である郡上エリアは生態系の多様性を豊かに育んできた。

長良川上流域であるこの郡上の生物多様性と白山文化（自然共生思想）と地域文化の多様性をユネスコエコパークを通じて「郡上モデル」として世界へ発信し、地域振興と持続的発展、地球環境の保全、及び地球平和への貢献に役立てていくものである。

６．終わりに

ユネスコが認定している「世界遺産」は非常に知名度が高いが、日本における「ユネスコエコパーク」については残念ながら知名度が高くはない。ユネスコエコパークを名実ともに進展させていくためには、国・大学等からの指導・情報をいただくとともに地域においての行政・企業・民間等の協働の関係努力が必要と考える。今後は郡上市における行政・企業・民間のパートナーシップ活動のような底上げの力の進展と ESD の進展を期待するものである。

最後に横浜国立大学・鈴木邦雄先生と酒井暁子先生にはこれまでに多くのご指導を頂きました。心より感謝申し上げます。ぎふ環境再生医・山口昌宏会長と郡上円空会・池田勇次先生にはユネスコ白山郡上エコパーク研究会の活動に対して適切なご指導とご協力を頂きました。心よりお礼申し上げます。

＜参考資料＞

１） ユネスコ白山郡上エコパーク研究会：日置敏明郡上市長への「白山ユネスコエコパークの拡張申請」についての要望資料
２） 環境省ユネスコエコパーク HP
http://www.env.go.jp/nature/isan/kento/conf02/04/mat04.pdf
３） ユネスコ「人間と生物圏」計画・日本 MAB 計画委員会 HP
http://risk.kan.ynu.ac.jp/gcoe/J-BRNet.html
４） 鈴木邦雄：地域を支える生態系－ユネスコエコパークを考える－、横浜国立大学
５） Chung Ⅱ Choi・ユネスコ MAB 国際調整理事会：ユネスコ MAB 計画の将来の展望、シンポジウム「ユネスコエコパーク　綾がつかんだ世界との絆」、東京大学
６） 白山エコパーク地元（４県７市村等）意見交換会資料、石川県庁
７） 郡上市白山エコパーク職員調査研究チーム＆ユネスコ白山郡上エコパーク研究会意見交換会資料
８）綾町ユネスコエコパーク視察資料